

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「グローバル新成長国オープン」は、このたび、第197期～第202期の決算を行いました。本ファンドは、新成長国（先進国を除いた国および地域）の株式および債券に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第202期末（2024年7月5日）		第197期～第202期	
基準価額	4,104円	騰落率	12.5%
純資産総額	1,693百万円	分配金合計	100円

（注）騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付できる旨が定められております。運用報告書（全体版）は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書（全体版）」を選択



交付運用報告書

グローバル 新成長国オープン

愛称：グローバルネクスト

追加型投信／海外／資産複合

第197期（決算日2024年2月5日）
第198期（決算日2024年3月5日）
第199期（決算日2024年4月5日）
第200期（決算日2024年5月7日）
第201期（決算日2024年6月5日）
第202期（決算日2024年7月5日）

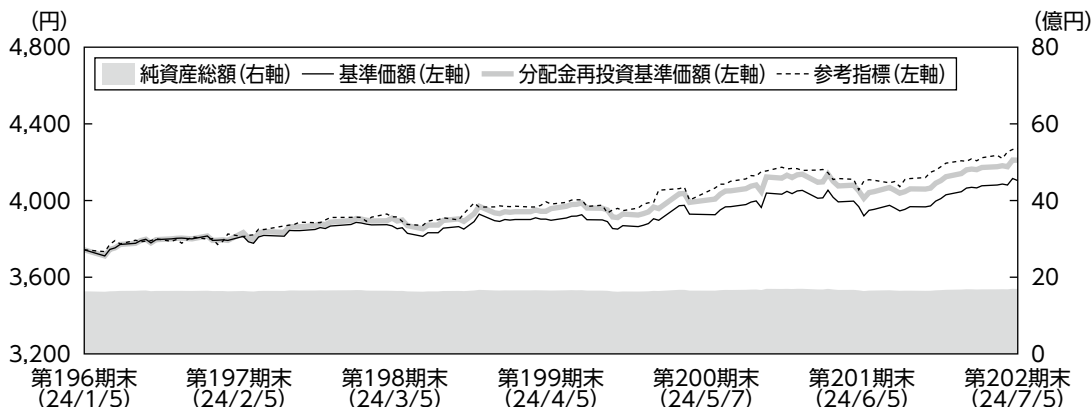
作成対象期間：2024年1月6日～2024年7月5日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒105-5543 東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズステーションタワー
お問合せ先：03-4587-6000（代表）
受付時間：営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2024年1月6日～2024年7月5日）



第197期首：3,743円

第202期末：4,104円

（当作成期中にお支払いした分配金：100円）

騰落率：+12.5%（分配金再投資ベース）

- （注1）参考指標は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）20%、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）60%、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）20%を委託者が合成した指数であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。
- （注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- （注4）分配金再投資基準価額、参考指標は、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。
- （注5）騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の3,743円から361円上昇し、期末には4,104円となりました。

上昇要因

新成長国株式市場、現地通貨建て新成長国債券市場（現地通貨ベース）や米ドル建て新成長国債券市場（米ドルベース）が上昇したことに加え、米ドルが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

ブラジル・レアルなどの通貨が対円で下落したことや、分配金をお支払いしたことなどが基準価額の下落要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

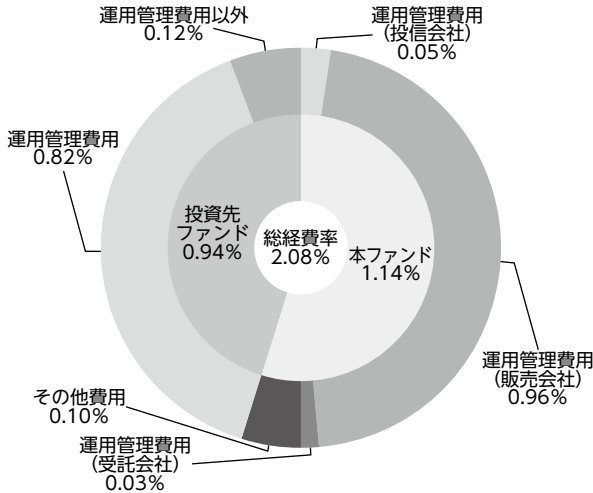
項目	第197期～第202期 2024年1月6日～2024年7月5日		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	21円 (1)	0.525% (0.027)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(19)	(0.481)	
(受託会社)	(1)	(0.016)	
その他費用 (保管費用)	2 (1)	0.052 (0.027)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に必要なその他の諸費用
(監査費用)	(0)	(0.006)	
(その他)	(1)	(0.019)	
合計	23	0.577	
期中の平均基準価額は3,935円です。			

- (注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

総経費率

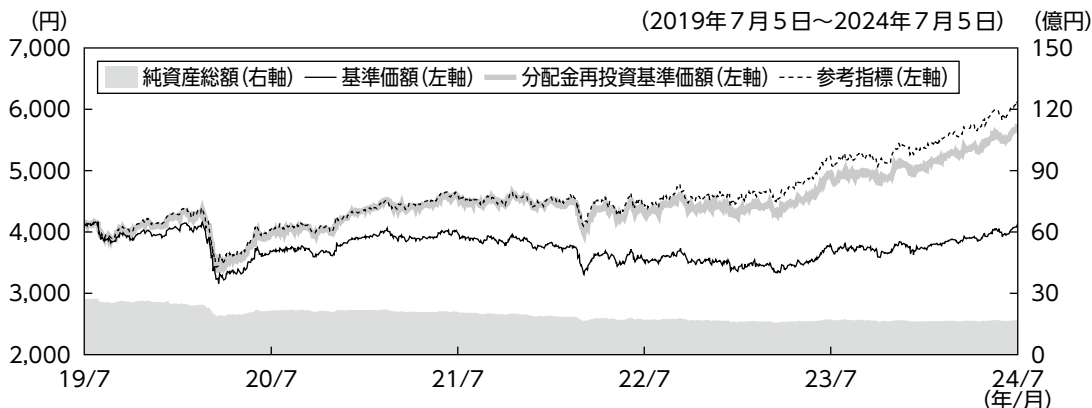
当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.08%です。



総経費率 (①+②+③)	2.08%
①本ファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.82%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.12%

- (注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。
- (注4) 投資先ファンドとは、本ファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- (注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、参考指標は、2019年7月5日の基準価額を起点として指数化しています。

(注4) 参考指標は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）20%、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）60%、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）20%を委託者が合成した指数であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

最近5年間の年間騰落率

	2019/7/5 決算日	2020/7/6 決算日	2021/7/5 決算日	2022/7/5 決算日	2023/7/5 決算日	2024/7/5 決算日
基準価額（分配落）（円）	4,115	3,679	3,983	3,540	3,778	4,104
期間分配金合計（税引前）（円）	—	300	240	240	240	220
分配金再投資基準価額騰落率	—	－3.3%	15.2%	－5.2%	14.2%	15.1%
参考指標騰落率	—	－1.3%	13.7%	－3.4%	17.0%	17.5%
純資産総額（百万円）	2,712	2,158	2,093	1,716	1,728	1,693

(注1) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てで表示しています。

(注3) 参考指標は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）20%、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）60%、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）20%を委託者が合成した指数であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

■ 投資環境について

＜新成長国株式市場＞

米経済指標が堅調さを維持し米金利が上昇傾向となるなかで、先進国では2023年に引き続きAI（人工知能）需要の拡大をテーマに、半導体銘柄など大手ハイテック株を中心に株価が大きく上昇しました。新成長国株式市場では、台湾が先進国同様に主力の半導体銘柄を中心に上昇、インド市場も総選挙を経て底堅く推移しましたが、中国市場で軟調な経済指標や政府による景気刺激策の物足りなさ、米中関係の悪化懸念などから上値の重い展開が続きました。新成長国株式市場全体としては、前期末を上回る水準で期を終えましたが、先進国と比較するとやや力強さに欠けるパフォーマンスとなりました。

＜現地通貨建て新成長国債券市場＞

当期の現地通貨建て新成長国債券市場（現地通貨ベース）は上昇しました。期の序盤は、中国当局による預金準備率の引き下げや株価下支え策などが好感され上昇しました。期の中盤は、市場予想を上回る物価指数などを受けて米金利が上昇した局面などで軟調に推移したほか、中東情勢の緊迫化などが嫌気され、下落しました。期の終盤は、米国の雇用やインフレの鈍化などを背景に米利下げ観測が高まった局面などで上昇し、前期末を上回る水準で期を終えました。

＜新成長国通貨市場＞

当期の新成長国通貨市場は、円に対して全体としては上昇する結果となりました。通貨別では、南アフリカ・ランドやポーランド・ズロチなどが相対的に堅調となった一方、ブラジル・レアルやトルコ・リラなどが相対的に軟調となりました。南アフリカ・ランドは、5月の総選挙で過半数割れとなった与党が、市場寄りの政策を掲げる野党との連立で合意したことなどが支援材料となりました。一方、ブラジル・レアルは、政府が財政収支目標を引き下げ、財政の黒字化を先送りしたほか、同国南部にある主要穀物生産地で発生した洪水による被害などが嫌気されました。

＜米ドル建て新成長国債券市場＞

当期の米ドル建て新成長国債券市場は、米国債の利回りが上昇（価格は下落）したものの、スプレッド（米国債に対する上乗せ金利）が縮小したことから、トータル・リターンはプラスとなりました。期の前半は、中国当局による株価下支え策や住宅ローン基準金利の引き下げに加え、3月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で年内3回の利下げ見通しが維持されたことなどが好感され、スプレッドは縮小基調で推移しました。期の後半は、中東情勢が緊迫化したほか、インドやメキシコの選挙結果を受け政治的不透明感が高まった局面などでスプレッドは拡大しました。結局、スプレッドは前期末より縮小し期を終えました。

■ ポートフォリオについて ＜本ファンド＞

新成長国の株式および債券への投資を通じて、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ、ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオを主要投資対象とし、資産配分は、新成長国株式20%、現地通貨建て新成長国債券60%、米ドル建て新成長国債券20%を基本としました。

＜ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ＞

新成長国市場の幅広い地域の株式に分散投資を行います。新成長国市場は、経済規模拡大によって、更なる発展および拡大の余地が期待できる市場と考えられます。同市場では、先進国との輸出を中心とした取引による外需と域内の巨大な人口を背景とした内需の両輪による高い成長力が期待される企業が多くみられます。当期も引き続き新成長国の株式に投資し、株式の組入比率を概ね高位に保ちながら、長期的なリターンを享受することをめざしました。

期中、個別銘柄ではT S M C（台湾積体電路製造）、テンセント・ホールディングス、ゾマトなどがプラスに寄与しました。一方で、J Y Pエンターテインメント、ウーシー・アプテック、貴州茅台酒などがマイナスに寄与しました。

＜ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ＞

期首においては、チェコや中国などの現地通貨建て債券のほか、シンガポール・ドルやポーランド・ズロチなどの通貨に対して相対的に強気のポジションを取った一方で、コロンビアやメキシコなどの現地通貨建て債券のほか、中国人民元やコロンビア・ペソなどの通貨に対して相対的に弱気のポジションを取りました。

期末においては、ハンガリーやチリなどの現地通貨建て債券のほか、メキシコ・ペソやブラジル・レアルなどの通貨に対して相対的に強気のポジションを取った一方で、ブラジルやメキシコなどの現地通貨建て債券のほか、中国人民元やタイ・バーツなどの通貨に対して相対的に弱気のポジションを取りました。

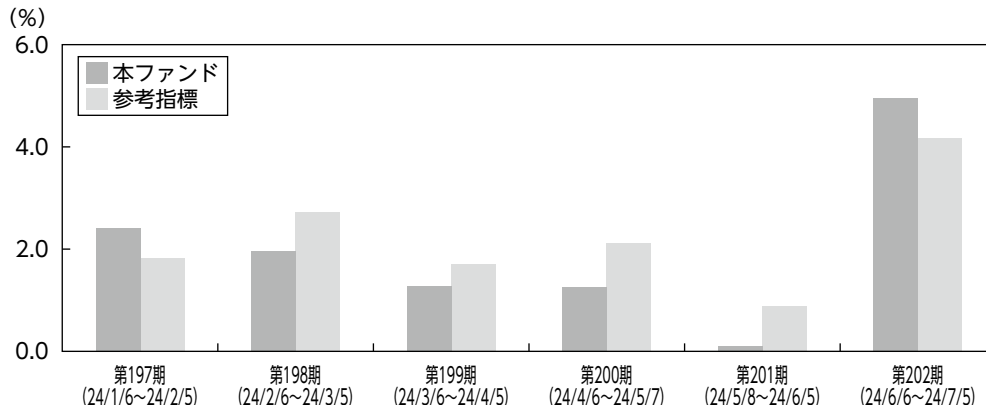
＜ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ＞

期首においてはメキシコや南アフリカなどを相対的に強気のポジションとした一方で、フィリピンやカタールなどを相対的に弱気のポジションとしました。期末においては南アフリカやメキシコなどを相対的に強気のポジションとした一方で、カタールや中国などを相対的に弱気のポジションとしました。

■ ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

<当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>



(注1) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 参考指標は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円ベース）20%、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）60%、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）20%を委託者が合成した指数であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は+12.5%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+14.1%となりました。

■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第197期から第200期は各20円、第201期、第202期は各10円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	第197期	第198期	第199期	第200期	第201期	第202期
	2024年1月6日 ～2024年2月5日	2024年2月6日 ～2024年3月5日	2024年3月6日 ～2024年4月5日	2024年4月6日 ～2024年5月7日	2024年5月8日 ～2024年6月5日	2024年6月6日 ～2024年7月5日
当期分配金	20	20	20	20	10	10
(対基準価額比率)	0.522	0.514	0.511	0.507	0.254	0.243
当期の収益	20	20	20	20	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,922	2,945	2,966	2,987	3,017	3,052

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。
また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<本ファンド>

今後も引き続き新成長国市場全体の収益機会の追求を目的として、投資信託証券を通じて新成長国の株式および債券に投資し、基本資産配分に沿った運用を行います。

<ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ>

米国では利下げ期待が高まりつつあることから金融環境での追い風が期待される一方で、景気減速による企業業績への影響も考慮した上での投資判断が求められる状況です。また、規制環境の変化や地政学リスク、企業ガバナンスに対する懸念など、投資に関わる不確実性はますます高まっています。企業が置かれる事業環境は引き続き流動的であるとともに、投資環境としてもマクロおよびミクロ経済ともに注視が必要な状況が続いていることから、企業個々の業績動向の把握と株価動向などを加味した銘柄選択が重要となる局面にあると考えます。運用においては、新成長国における一人当たり所得の増加は消費の拡大や経済発展を牽引する重要な要素であるとみており、労働人口の増加、労働参加率の上昇、前世代より教育水準が上がり都市化された人々の増加により、さらに高まることが予想されます。これらの成長ポテンシャルを勘案すると、新成長国株式市場は魅力的なバリュエーション水準にあると考えます。

今後も引き続き運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツ・デット・ローカル・ポートフォリオ>

現地通貨建て新成長国債券市場については、底堅い世界経済が新成長国ファンダメンタルズの下支えとなるなか、先進国および新成長国のインフレが市場の主な注目点になるとみています。また、米国の金利動向に左右されやすい環境が続くと予想されます。リスク材料としては、米国の大統領選挙が控えるなか、市場ボラティリティが高まる可能性に注意しています。引き続き地政学リスクに加え、グローバルの選挙動向による新成長国市場への影響も注視する方針です。このような環境下、各国のファンダメンタルズなどを精査しつつ、ポジションを構築することが重要と考えます。

当社では、新成長国通貨については、メキシコ・ペソやブラジル・レアルなどを強気にみる一方、中国人民元やタイ・バーツなどを弱気にみています。メキシコ・ペソについては、高金利通貨であることなどから強気にみています。一方、中国人民元については、依然として先行き不透明感が高いことなどから弱気にみています。現地通貨建て債券については、ハンガリーやチリなどを強気にみる一方、ブラジルやメキシコなどを弱気にみています。ハンガリーについては、インフレが落ち着きつつあることなどから強気にみています。一方、ブラジルについては、財政への懸念などから弱気にみています。

今後も引き続き運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツ・デット・ポートフォリオ>

米ドル建て新成長国債券市場において、底堅い世界経済が新成長国ファンダメンタルズの下支えとなるなか、先進国および新成長国のインフレが市場の主な注目点になるとみています。また、米国の金利動向に左右されやすい環境が続くと予想されます。リスク材料としては、米国の大統領選挙が控えるなか、市場ボラティリティが高まる可能性に注意しています。引き続き地政学リスクに加え、グローバルの選挙動向による新成長国市場への影響も注視する方針です。このような環境下、各国のファンダメンタルズなどを精査しつつ、ポジションを構築することが重要と考えます。

今後も引き続き運用の基本方針に基づいて運用を行います。

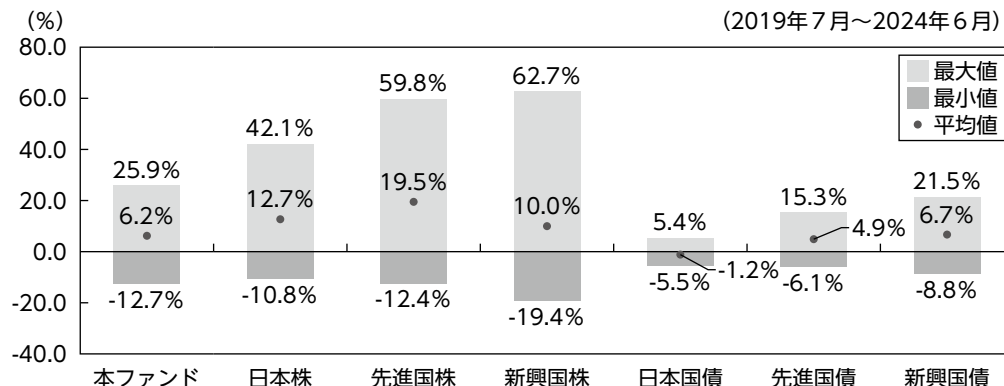
(上記見通しは2024年7月5日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	原則として無期限
運用方針	新成長国の株式を主要投資対象とする投資信託証券、新成長国の債券を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. ①ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ ②ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ ③ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ
指定投資信託証券①	エマージング諸国の主に株式および株式関連証券
指定投資信託証券②	エマージング諸国の主に現地通貨建て債券
指定投資信託証券③	エマージング諸国の主に米ドル建て債券
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とし、株式への直接投資は行いません。 ③実質的に保有する各資産クラスの投資比率は、新成長国の株式：20%、新成長国の債券：80%（現地通貨建て債券：60%、米ドル建て債券：20%）を基本とします。
分配方針	原則として毎計算期末（毎月5日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2019年7月から2024年6月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

□東証株価指数（TOPIX）の指数値および東証株価指数（TOPIX）に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。□MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI エマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI インクに帰属します。MSCI およびMSCI の情報の編集、計算、および作成に関与するその他の者（以下総称して「MSCI 当事者」といいます）は、MSCI の情報について一切の保証（独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません）を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI 当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害（逸失利益を含みます）およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCI の書面による明示的な同意がない限り、MSCI の情報を配布または流布してはならないものとします。□NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。□FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。□JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバルに関する著作権は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容（2024年7月5日現在）

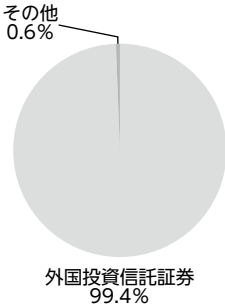
○組入上位ファンド

（組入銘柄数：3銘柄）

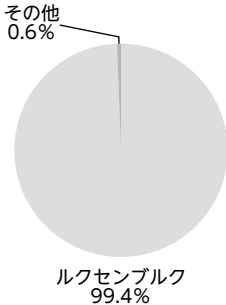
ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ	60.0%
ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ	20.5%
ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ	18.9%

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

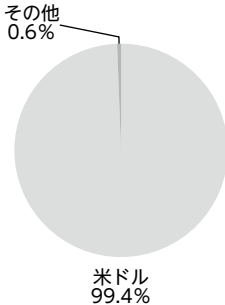
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

（注2）国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

■ 純資産等

項目	第197期末	第198期末	第199期末	第200期末	第201期末	第202期末
	2024年2月5日	2024年3月5日	2024年4月5日	2024年5月7日	2024年6月5日	2024年7月5日
純資産総額	1,640,976,419円	1,645,721,533円	1,652,281,686円	1,649,600,788円	1,638,016,781円	1,693,204,019円
受益権総口数	4,303,811,334口	4,254,166,328口	4,239,531,936口	4,201,892,167口	4,178,384,022口	4,125,876,272口
1万口当たり基準価額	3,813円	3,868円	3,897円	3,926円	3,920円	4,104円

（注）当作成期首元本額は4,360,759,039円、当作成期間（第197期～第202期）中において、追加設定元本額は47,396,723円、同解約元本額は282,279,490円です。

組入上位ファンドの概要

<ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツ・エクイティ・ポートフォリオ> (2023年11月30日現在)

* 2024年7月5日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2022年12月1日~2023年11月30日)



* | Xシェアクラスの純資産価格

○費用明細 (2023年11月30日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	
当座借越支払利息	11,915
スワップ契約を除く支払利息	11,084
有価証券貸付にかかる手数料	6,022
投資顧問報酬	29,915,749
保管費用	1,745,921
管理事務代行報酬	444,875
販売報酬およびサービシング報酬	514,938
名義書換事務代行報酬	357,575
年次税	662,039
専門家報酬	80,250
その他運用費用	1,533,165
	<u>35,283,533</u>
費用合計	<u>35,283,533</u>

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

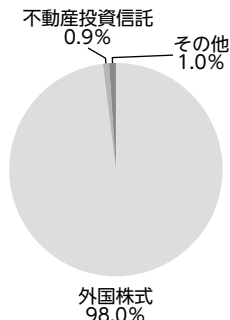
	銘柄名	国・地域	比率
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	台湾	8.9%
2	Samsung Electronics Co. Ltd.	韓国	6.4%
3	Tencent Holdings Ltd.	ケイマン諸島	5.6%
4	Alibaba Group Holding Ltd.	中国	3.1%
5	Kweichow Moutai Co. Ltd. Class A	中国	2.6%
6	ICICI Bank Ltd.	インド	1.8%

(組入銘柄数: 123銘柄)

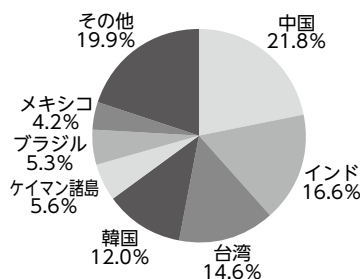
	銘柄名	国・地域	比率
7	Bank Central Asia Tbk PT	インドネシア	1.7%
8	Zomato Ltd.	インド	1.5%
9	MediaTek, Inc.	台湾	1.4%
10	Axis Bank Ltd.	インド	1.4%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

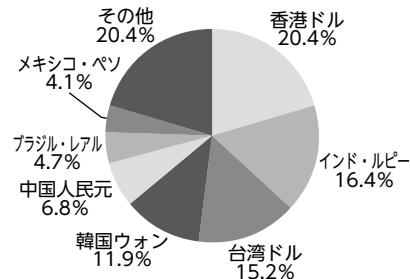
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツ・デット・ローカル・ポートフォリオ> (2023年11月30日現在)

* 2024年7月5日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2022年12月1日~2023年11月30日)



* I Xシェアクラスの純資産価格

○組入上位10銘柄

	銘柄	種別	通貨	比率
1	Goldman Sachs US\$ Treasury Liquid Reserves Fund (X Distribution Class)	投資信託	米ドル	9.6%
2	Brazil Letras do Tesouro Nacional	債券	ブラジル・レアル	7.3%
3	Brazil Notas do Tesouro Nacional—Series F	債券	ブラジル・レアル	3.5%
4	Indonesia Treasury Bond—Series FR71	債券	インドネシア・ルピア	2.5%
5	Mexican Bonos—Series M	債券	メキシコ・ペソ	2.4%
6	Indonesia Treasury Bond—Series FR80	債券	インドネシア・ルピア	2.4%

○費用明細 (2023年11月30日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	
当座借越支払利息	2,292
投資顧問報酬	5,411,144
保管費用	441,639
管理事務代行報酬	236,765
販売報酬およびサービシング報酬	26,232
名義書換事務代行報酬	49,627
年次税	105,703
専門家報酬	29,273
その他運用費用	330,835
	6,633,510
費用合計	6,633,510

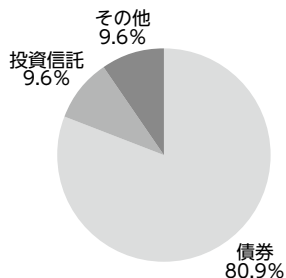
(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

(組入銘柄数: 104銘柄)

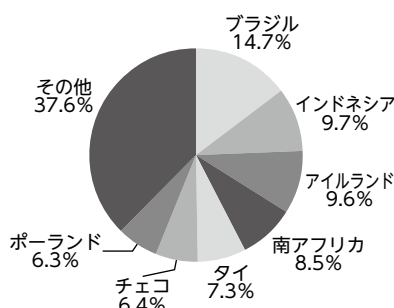
	銘柄	種別	通貨	比率
7	Brazil Notas do Tesouro Nacional—Series F	債券	ブラジル・レアル	2.2%
8	South Africa Government Bond—Series 2032	債券	南アフリカ・ランド	2.0%
9	Peru Government Bond	債券	ペルー・ソル	1.8%
10	Indonesia Treasury Bond—Series 100	債券	インドネシア・ルピア	1.7%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

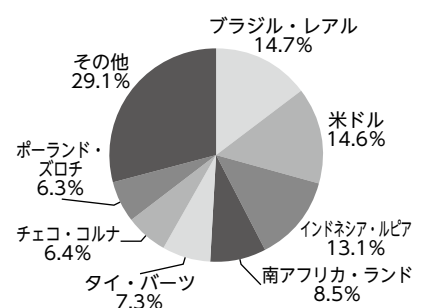
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ> (2023年11月30日現在)

* 2024年7月5日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2022年12月1日~2023年11月30日)



* I Xシェアクラスの純資産価格

○費用明細 (2023年11月30日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	
当座借越支払利息	1,973
有価証券貸付にかかる手数料	54,657
投資顧問報酬	17,618,375
保管費用	485,087
管理事務代行報酬	506,912
販売報酬およびサービシング報酬	797,863
名義書換事務代行報酬	237,753
年次税	553,082
専門家報酬	70,830
その他運用費用	1,160,795
	21,487,327
費用合計	21,487,327

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

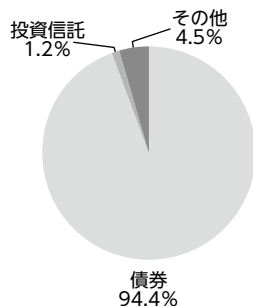
	銘柄	種別	通貨	比率
1	United States Treasury Note/Bond	債券	米ドル	2.3%
2	Petroleos de Venezuela SA	債券	米ドル	1.8%
3	United States Treasury Note/Bond	債券	米ドル	1.8%
4	Goldman Sachs US\$ Treasury Liquid Reserves Fund (X Distribution Class)	投資信託	米ドル	1.6%
5	Hungary Government International Bond	債券	米ドル	1.2%
6	Colombia Government International Bond	債券	米ドル	1.0%

(組入銘柄数: 498銘柄)

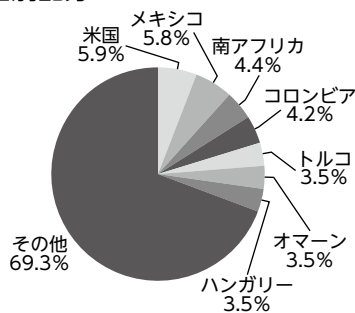
	銘柄	種別	通貨	比率
7	Oman Government International Bond	債券	米ドル	0.8%
8	Brazil Government International Bond	債券	米ドル	0.8%
9	Eastern & Southern African Trade & Development Bank	債券	米ドル	0.7%
10	South Africa Government International Bond	債券	米ドル	0.7%

(注) 比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

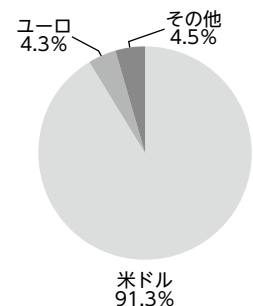
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。